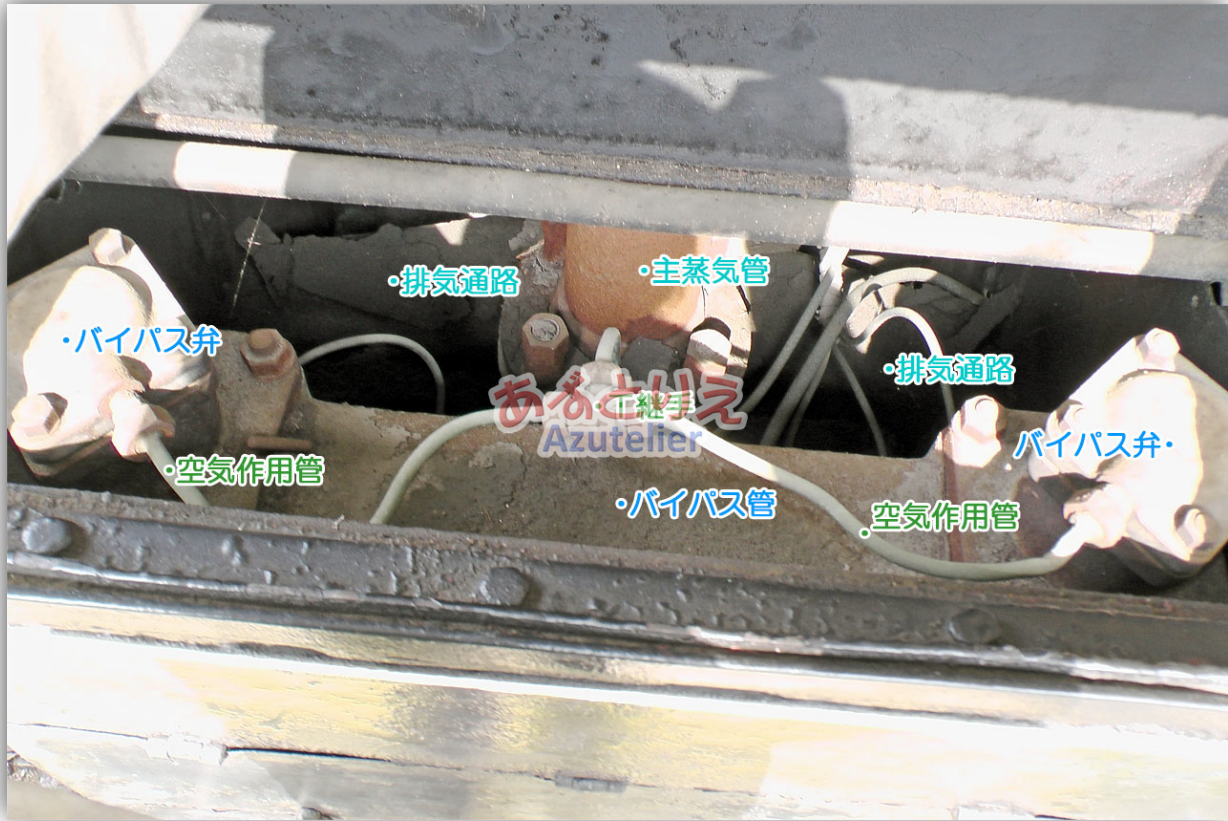


⑥**バイパス装置**・・・惰行運転を行うと、**加減弁**が閉じられ**気筒室(シリンダー)**への蒸気が送られなくなりま
す。しかし惰性で動いているピストンの力で**気筒室(シリンダー)**内の空気が圧縮・真空状態になり、ピス
トンがスムーズに動けなくなります。これを解消するために、ピストン前後の**気筒室(シリンダー)**内を**バ
イパス(バイパス管)**でつなぎ、蛇行運転の時には圧縮空気の力によって**バイパス弁**を開き、ピストンの動
きに応じて**気筒室(シリンダー)**の空気を前後へ自由に行き来できるようにする機構がついています。
(⇒p7「加減弁テコハンドル」)(⇒p35「加減弁」)



蒸気機関車のごはん
石炭 (せきたん) です

蒸気機関車は石炭を燃やし、水をあたためて
できた蒸気で動くしくみになっているので、
機関助手は走っている間中ずっと石炭を
ボイラーの火室の中へ均等に入れますが、
いそがしく、たいへんな重労働でした

蒸気機関車のごはん、石炭です。
機関助手が石炭をくべるのですが、たいへんな重労働でした。

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまいました。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき／D51688 号蒸気機関車保存協力会